

1. PCプロジェクタ使用に関して

全ての講演会場で、PCプレゼンテーションを実施します。OHPによる発表を廃止しますので、ご注意ください。講演会場には、ノートパソコンと液晶プロジェクターを設置しています。PCプレゼンテーション実施にご協力ください。

< PCプロジェクタ使用における注意事項 >

1. 会場設置のノートパソコンを使用する場合

講演者は、USBメモリ又はCD-ROMでパワーポイント(PPT)のファイルを会場に持参し、発表することができます。以下の動作環境にご留意いただき、発表されることを望みます。

1-1) ハードウェア

- ・CPUはCeleron又はCeleronM、クロック周波数は2.0GHz程度です。
- ・メインメモリは256MBです。
- ・USB 2.0ポートは2個付いています。
- ・CD-ROMドライブを内蔵しています。
- ・ホイールマウスを用意します。

1-2) ソフトウェア

- ・OSはWindows XP Proです。
- ・プレゼンテーションソフトはMicrosoft Power Point (PPT) 2003です。
- ・動画再生ソフトは、Windows Media Player Ver.10です。特殊な形式・コーデックには対応していませんので、標準的なものをご使用ください。Quick TimeやReal Playerなど、他の再生ソフトはインストールされていません。

1-3) 発表用ファイル

- ・USBメモリは接続に際してドライバソフトが不要な仕様のもので使ってください。最近の製品であれば問題なく接続可能ですが、別途ドライバソフトを必要とするUSBメモリは使用できません。USBメモリのフォーマットはFATまたはFAT32にしてください。
- ・PPTファイルを作成する場合、Windows XPが標準で提供しているフォントを使用してください。例えば、日本語と英語：MS明朝、MSゴシック、英語：Arial、Times New Roman等があります。標準でないフォントを使用すると、デザインされたとおりに表示されません。
- ・ファイルサイズがあまり大きくなりすぎないようにご注意ください。メインメモリの容量が限られていますので、サイズの大きなファイルを操作するとパソコンが不調になることがあります。
- ・PPTファイルにファイル名を付けてください。ファイル名は、半角英数字の講演番号と発表者の姓(漢字使用)をアンダースコア(アンダーバー)で結んで表記してください。

ファイル名の例：22aA11_応物.ppt

- ・ウイルスを伝染させることが無いよう、ファイルの管理には十分注意して下さい。

1-4) 発表会場

- ・セッション開始前の休憩中に、USBメモリ又はCD-ROMのデータをノートパソコンのデスクトップにコピーして、発表に備えてください。この場合、セッション終了後にアルバイターがノートパソコンにコピーされたファイルを閲覧できない状態に消去します。
- ・完全消去には対応しておりませんので、ノートパソコンのハードディスクにデータが残ることを気になさる方は、USBメモリ又はCD-ROMを直接アクセスして投影を行ってください。
- ・ノートパソコンへのコピーと投影チェックは、セキュリティ上、座長あるいは会場担当のアルバイター立会いで行ってください。コピーは原則アルバイターが行います。アルバイターは、休憩時間には常駐しますが、昼休みは午後の講演時間の

20分前まで不在となる場合がありますので、お含みの上ご協力願います。

- ・ショートプレゼンテーション(5分)の会場では、セッション開始前にファイルのコピーをお願いします。接続や交代時間も講演時間に含まれます。また、ショートプレゼンテーションの会場では、次発表者席を設けておりますので、その席で待機してください。

2. 個人のノートパソコンを使用する場合

講演者が持参したノートパソコンを使って、発表することができます。以下の点にご留意いただき、発表されることを望みます。

2-1) パソコンの操作

- ・講演者は、画面を外部出力可能にしておいてください。

2-2) 講演会場

- ・発表開始前にパソコンの電源を入れ、投影の準備をしておいてください。
- ・接続に要する時間も講演時間に含みますので、発表のスタンバイにご協力ください。
- ・ショートプレゼンテーションの会場には、コネクタ3個口を有する接続切替器を用意します。接続切替器の空きコネクタの接続ケーブルと持参のパソコンを接続してください。次発表者席を設けておりますので、その席で待機し、講演会の円滑な進行にご協力ください。

2. 講演時間について

各会場の講演がプログラムどおり進行し、聴きたい講演を予定の時刻に行けば聴くことができるようになっていくことが望まれます。この要請をある程度満たすために次の方法により講演時間などを調整しています。

- a. 原著発表の講演時間は10分とする。
- b. 題目の討論時間は5分とする。
- c. 座長は休憩時間開始時刻ならびに午前、午後の講演終了時刻までに定められたプログラムを終了するように時間を調整する。
- d. 講演開始、昼食時刻などは講演分科日程表・本文のとおりとする。(原則午前の座長のみ前半、後半を通じ一人の方をお願いすることにしていきます。)シンポジウム講演、受賞記念講演については一律に規定しがたいのでプログラムに定められたとおり実施する。

3. 講演時間の合図について

第1鈴：講演予定時間終了の5分前

第2鈴：講演予定時間終了のとき

第2鈴が鳴ったとき直ちに講演を中止していただきます。

4. 講演開始時間・昼食時間について

午前・午後の講演開始時間は、会場により異なりますので十分ご注意ください。

(講演分科日程表(p.6～9)および本文でご確認ください)